

【START】

東戸塚駅東口

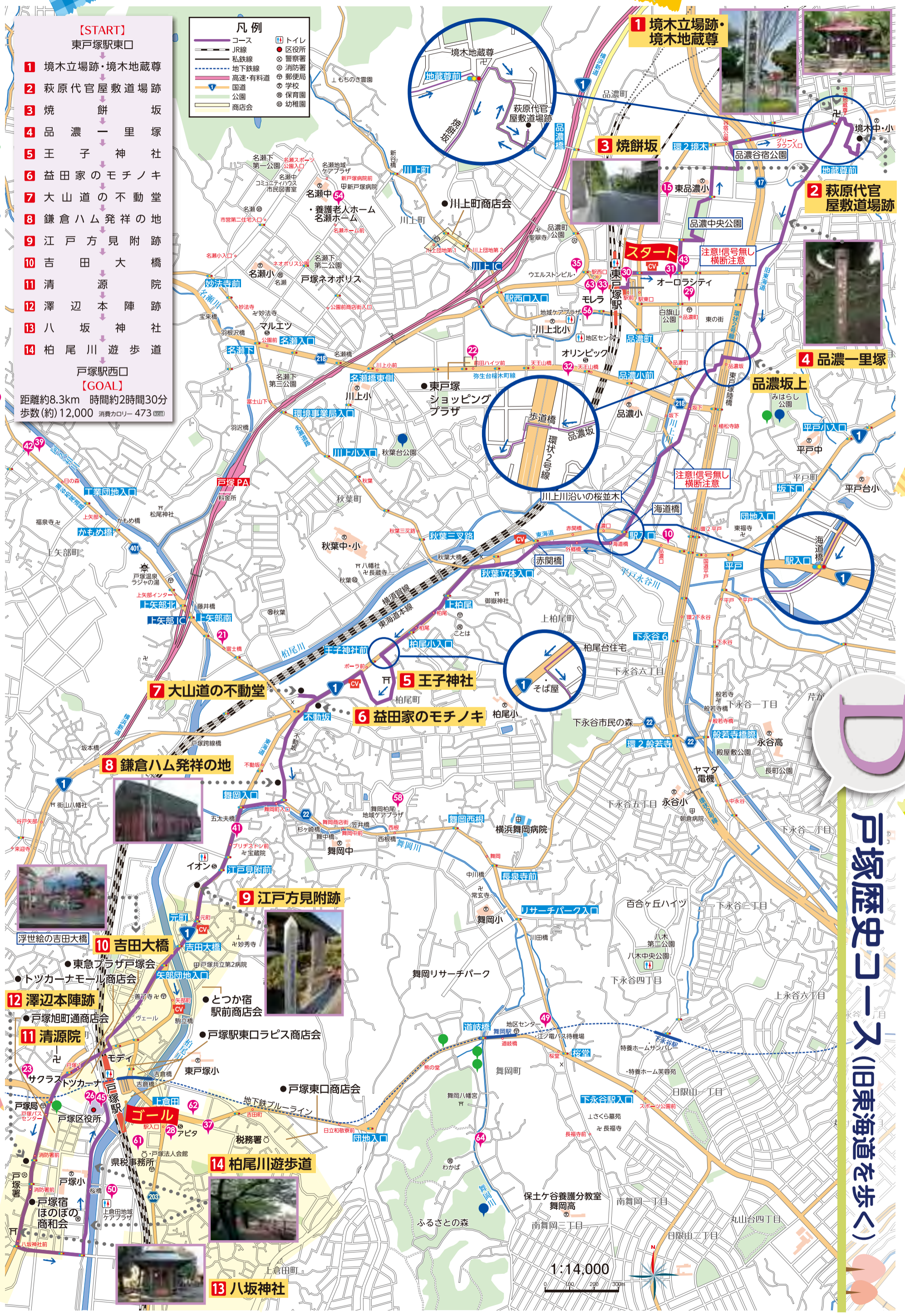
- 1 境木立場跡・境木地蔵尊
- 2 萩原代官屋敷道場跡
- 3 焼餅坂
- 4 品濃一里塚
- 5 王子神社
- 6 益田家のモチノキ
- 7 大山道の不動堂
- 8 鎌倉ハム発祥の地
- 9 江戸方見附跡
- 10 吉田大橋
- 11 清源院
- 12 澤辺本陣跡
- 13 八坂神社
- 14 柏尾川遊歩道

【GOAL】

戸塚駅西口
距離約8.3km 時間約2時間30分
歩数(約)12,000 消費カロリー473

凡例

コース	トイレ
JR線	区役所
私鉄線	警察署
地下鉄線	消防署
高速・有料道	郵便局
国道	学校
公園	保育園
商店会	幼稚園



戸塚歴史コース(旧東海道を歩く)

1:14,000



1 境木立場跡・境木地藏尊

地藏尊の前に武蔵国と相模国の国境を示す杭が立てられている。境木に立場があり、旅人で賑わっていた。立場は宿場と宿場の間にある村を「間(あい)の村」と言い、間の村の中で馬を継ぎ立てたり、人足や駕籠かきなどが休息する場所。境木地藏尊は江戸時代の初め、鎌倉の腰越の浜に打ち上げられたお地藏様の御堂を建ててお祀りしたところ、参詣の人も増えて賑わった。



境木地藏尊



境木立場跡

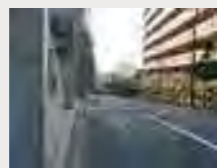
2 萩原代官屋敷道場跡

幕末から明治初期の当主萩原太郎行篤は直心影流の免許皆伝を得、道場を開いた。道場には数多くの刺客が訪れ、新撰組で知られる近藤勇もその一人。



3 焼餅坂

境木立場跡から品濃一里塚への途中にある坂が焼餅坂。昔、この坂の傍らで焼餅を売っていた茶店があったことから、この名前がつけられたと言われている。別名で牡丹餅坂ともいう。



道案内

東戸塚駅東口から横浜銀行の前を通り、広い道路を横断、直進。一つ目の信号を渡って左折し、直進すると右に品濃中央公園があるので、その中を抜けていく。信号「東品濃小学校前」を左折し、一つ目の十字路を右に入ると品濃谷宿公園。公園の中を環状2号線を横断し直進すると「境木地藏尊前」の信号の角に**1 境木立場跡・境木地藏尊**。信号を渡り、バス停の手前のマンションとマンションの間の細い坂道を下る。一つ目の角を右に曲がり、左側が竹林になっている道を下ると左前方に**2 萩原代官屋敷道場跡**。先程の信号に戻り、左に下って行く道が**3 焼餅坂**。坂を下り、その先の緩い坂を上がりきった右に、

4 品濃一里塚

江戸から9番目の一里塚。ほぼ完全な形で残され、県の史蹟にも指定されている。徳川幕府は慶長9年(1604年)交通の円滑を図るため5街道を整備し、当時あいまいであった駄賃銭を決めるため、江戸日本橋を起点とした里程標を造った。それが一里ごとに五間四方の塚で造られ、一里塚と呼ばれるようになった。



5 王子神社

祭神は大塔宮護良親王。親王は後醍醐天皇の皇子で、仏門に入り天台座主を務めたが、武芸に励むなど今迄にない不思議な座主であった。「建武の中興」後、足利尊氏と対立し、尊氏の弟直義によって殺害され、後にこの場所に首が葬られたと伝えられている。



6 益田家のモチノキ

不動坂の手前左側の道路より一段高い民家の敷地内にある。このモチノキは県指定天然記念物で、樹齢300年、樹高19mと言われている。(写真は平成21年のものです。)



4 品濃一里塚。一里塚の説明板が道路際にあるが、塚そのものは公園の中にある。公園を出て、少し先の道路(信号がないので注意)を横断し、道なりに進む。しばらく進むと二又に分かれる道(左角に旧東海道品濃坂と書かれた小さな標示板がある。)に出るので、車に気を付けながら右の細い下り坂に進む。坂の途中、左手側の旧東海道の案内がある階段を下りて環状2号線に架かる品濃坂歩道橋を渡り左に下りる。すぐの角を右へ入り、すぐに左折し道なりに進む。高架の下を行き、バス通りを横断(信号無し。五叉路)して川沿いを進む。信号「東戸塚駅入口」を左に渡り、さらに国道1号線を横断して平戸永谷川沿いを進むと赤関橋。橋を渡り道なりに進むと、道は再び1号線に合流。信号「王子神

7 大山道の不動堂

柏尾通大山道は柏尾村から用田・戸田・上粕屋を経て大山に至る道で、かつては東海道脇に一の鳥居が立ち、そこに阿夫利神社の扁額が掛かっていた。道脇にある不動堂には、その扁額と台座の上に不動明王が乗っている道標が納められている。



8 鎌倉ハム発祥の地

門構えの屋敷は代々柏尾村の名主を務めた斎藤家で、鎌倉ハム発祥の地とされている。その手前にある煉瓦造りの建物は鎌倉ハムの製造及び冷蔵庫に使われていた。



9 江戸方見附跡

戸塚宿はこの江戸方見附跡からで、貴賓の出迎えや大名行列の隊伍整えは、ここで行っていた。宿内の家並みは長さ二十町(約2.2km)人口は江戸後期で2,906人であった。



10 吉田大橋

マップにある画像は橋の欄干に表示されている広重の浮世絵。当時の吉田大橋を知る上で興味深い。絵の中央あたりに「左りかまくら道」と書かれた道標がある。当然のことながら、現在も左に行けば鎌倉に通じる。



社前」の手前を左折、保育園の前を通り過ぎ、その先の狭い道を上りきると右に**5 王子神社**。鳥居を出て右折、道なりに進み1号線を左折すると不動坂の信号手前左側に**6 益田家のモチノキ**(個人宅の敷地内にあるので、外から見学)。益田家のモチノキから少し先に見える不動坂の信号を渡り右折、約100m行くと左に入る道があるので進むと右に**7 大山道の不動堂**。再び信号に戻り、先程の横断歩道を渡って約20m戻る。右に旧東海道と記された看板の道を進むと**8 鎌倉ハム発祥の地**である赤煉瓦の倉庫が右に見えてくる。道なりに進み信号を横断、元舞橋を渡り右折して1号線を進むとスーパーの隣のファミレス前に**9 江戸方見附跡**。見附跡から少し行くと**10 大橋(吉田大**

11 清源院

清源院は京都知恩院の末寺で浄土宗の寺院。徳川家康の側室お万の方が家康の没後尼となり、その菩提を弔うために開基したと伝えられている。



12 澤辺本陣跡

澤辺本陣は戸塚に二つあった本陣の一つ(もう一つは内田本陣)で、建坪は271坪あったと言われている。内田本陣は現在の戸塚郵便局の辺りにあった。



13 八坂神社

戸塚宿の鎮守。毎年7月14日の夏祭りに、うちわで撒く「お札まき」は市の無形民俗文化財に指定されている珍しい行事。



14 柏尾川遊歩道……………桜

桜の季節には多くの花見客で賑わう遊歩道。この川は柏尾町の阿久和川と平戸永谷川の合流点から藤沢市の境川合流点までの延長11kmの二級河川。流域面積は横浜市で2番目の大きさである。



橋)。信号「矢部団地入口」を直進し、そのまま歩道を歩いて地上を進む(地下車道(戸塚アンダーパス)は歩行禁止)。横断歩道を渡り直進、JRの跨線橋(戸塚大踏切デッキ)に上り、突き当りで跨線橋を下りる。今までの進行方向に進み、「清源院入口」の信号を直進するとすぐ右手側に**11 清源院**。「清源院入口」の信号を右折、戸塚郵便局の前を進むと**12 澤辺本陣跡**の標柱。本陣跡から約270mで**13 八坂神社**。神社の前の信号「八坂神社前」を左に横断、直進、柏尾川に出たら左折。川沿いの**14 柏尾川遊歩道**を進むと戸塚駅西口への入口。